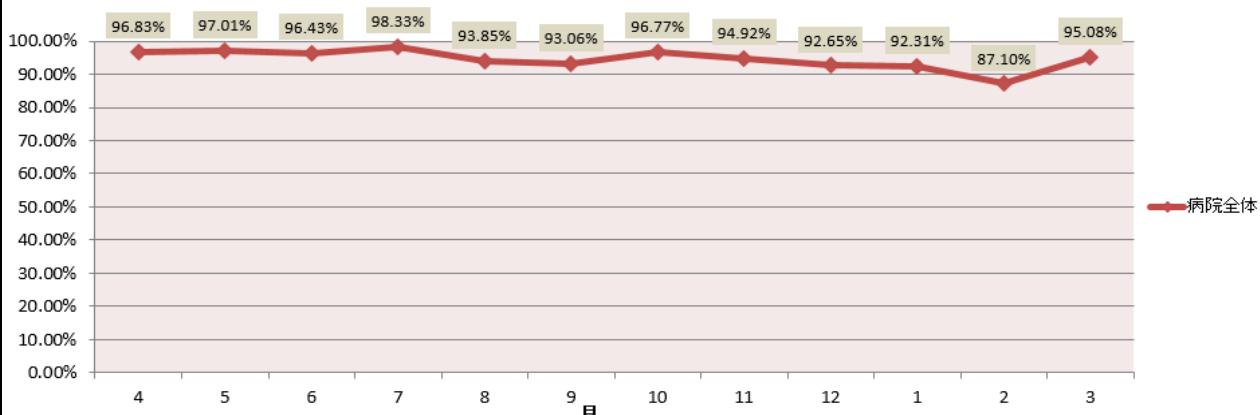


リハビリテーション(4項目)

**【プロセス指標】
退院患者に対するリハ実施率**

廃用症候群や合併症を予防改善し早期社会復帰に対するリハビリテーションの質の指標
* ベンチマーク: 63.00%(民医連QI公開・推進事業2023年度中央値)

リハ実施率A(退院患者に対するリハ実施率)



病院全体	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	指標	96.83%	97.01%	96.43%	98.33%	93.85%	93.06%	96.77%	94.92%	92.65%	92.31%	87.10%	95.08%
疾患別リハビリ(PT、OT、STいすれか)を実施した退院患者数(在院日数3日以内は除く)	分子	61	65	54	59	61	67	60	56	63	60	54	58
退院患者数(在院日数3日以内は除く)	分母	63	67	56	60	65	72	62	59	68	65	62	61

前年度同様、年間平均はベンチマークを大きく上回る結果であった。

病棟別では、医療療養病棟、障害者病棟、地域包括ケア病棟の順に高かった。

地域包括ケア病棟では、退院前に疾患別リハからPOC(ポイント・オブ・ケア)に移行する患者が一定数おり、このPOCは本定義においては単位数に換算されないためその影響があったと考える。

**【プロセス指標】
スタッフ1人あたりのリハ単位数**

廃用症候群や合併症を予防改善し早期社会復帰に対するリハビリテーションの質の指標
* ベンチマーク: 253.90単位/人(民医連QI公開・推進事業2023年度中央値)

リハ実施率C(スタッフ一人当たりのリハ単位数)



病院全体	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	指標	267.98	281.9	271.9	296.0	289.9	259.6	296.7	265.2	260.4	254.0	230.2	256.4
疾患別リハビリ総単位数	分子	16079	15870	15252	16456	15714	13551	14835	13497	13595	13210	11786	13000
資格を有するリハビリ職員数の当月一日の人数と月末の人数の和を2で割った値	分母	60	56.3	56.1	55.6	54.2	52.2	50	50.9	52.2	52	51.2	50.7

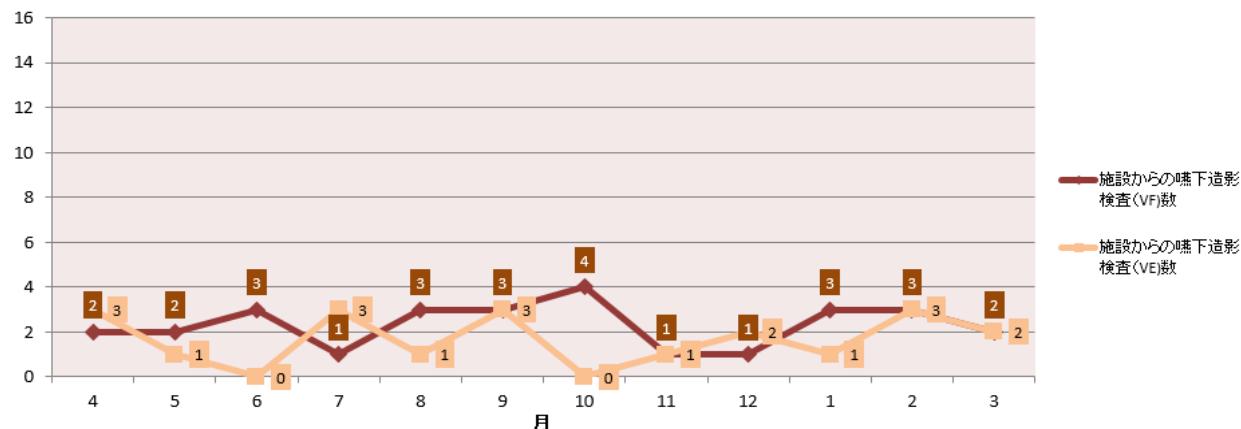
病院全体の年間平均はベンチマーク及び前年度を上回る結果であった。

計画外の職員減があった中、職員一人ひとりが頑張った結果と考える。

【プロセス指標】
施設からの嚥下検査(VF・VE)数

住み慣れた地域で生活し続けることを支援するためのリハビリテーションの質の指標

施設からの嚥下検査(VF・VE)数



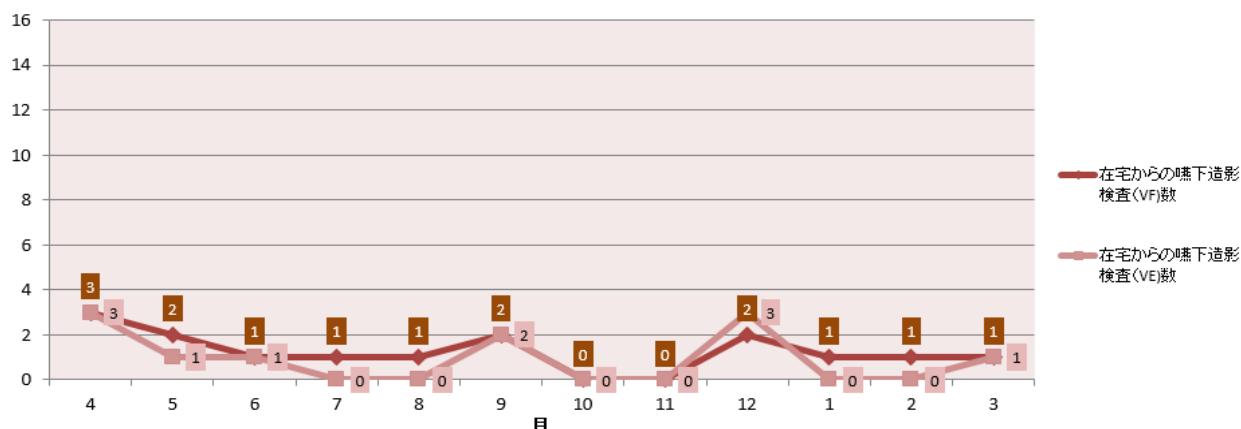
病院全体		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設からの嚥下造影検査(VF)数	指標		2	2	3	1	3	3	4	1	1	3	3	2
病院全体		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設からの嚥下造影検査(VE)数	指標		3	1	0	3	1	3	0	1	2	1	3	2

前年比微増、継続して経過をみていきたい。

【プロセス指標】
在宅からの嚥下検査(VF・VE)数

住み慣れた地域で生活し続けることを支援するためのリハビリテーションの質の指標

在宅からの嚥下検査(VF・VE)数



病院全体		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在宅からの嚥下造影検査(VF)数	指標		3	2	1	1	1	2	0	0	2	1	1	1
病院全体		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在宅からの嚥下造影検査(VE)数	指標		3	1	1	0	0	2	0	0	3	0	0	1

前年比微増、継続して経過をみていきたい。